

「令和元年産水稻の8月15日現在における作柄概況（関東農政局管内）」 8月30日公表の補足資料

関東農政局統計部

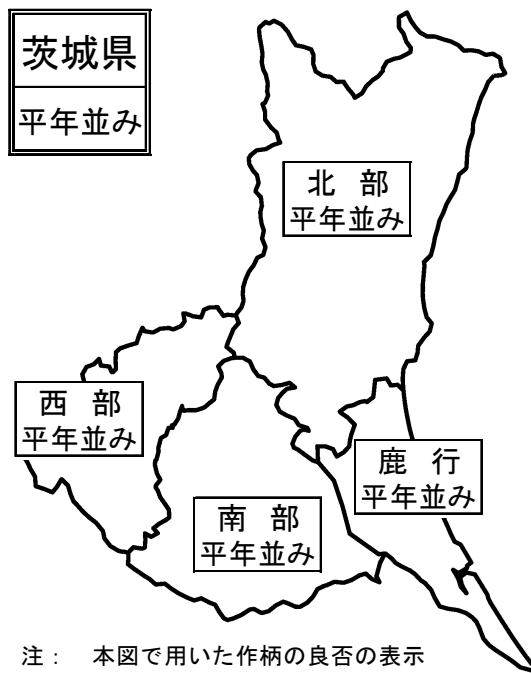
【茨城県の作柄概況】

茨城県における令和元年産水稻の8月15日現在の作柄は、生育期間を通じておおむね天候に恵まれたことから「平年並み」と見込まれる。

また、作柄表示地帯別の作柄は、全て「平年並み」と見込まれる。

- 1 田植最盛期は、平年並みとなった。
- 2 出穂最盛期は、6月下旬以降、日照不足で推移したことから、平年に比べ4日遅くなった。
- 3 全もみ数は、5月上旬から6月上旬の高温・多照の影響により分けつが順調に進み穂数がやや多く、1穂当たりもみ数が平年並みで見込まれることから「平年並み」と見込まれる。
- 4 登熟は、7月中旬は日照不足であったが、7月下旬以降、高温・多照に推移したことから「平年並み」と見込まれる。

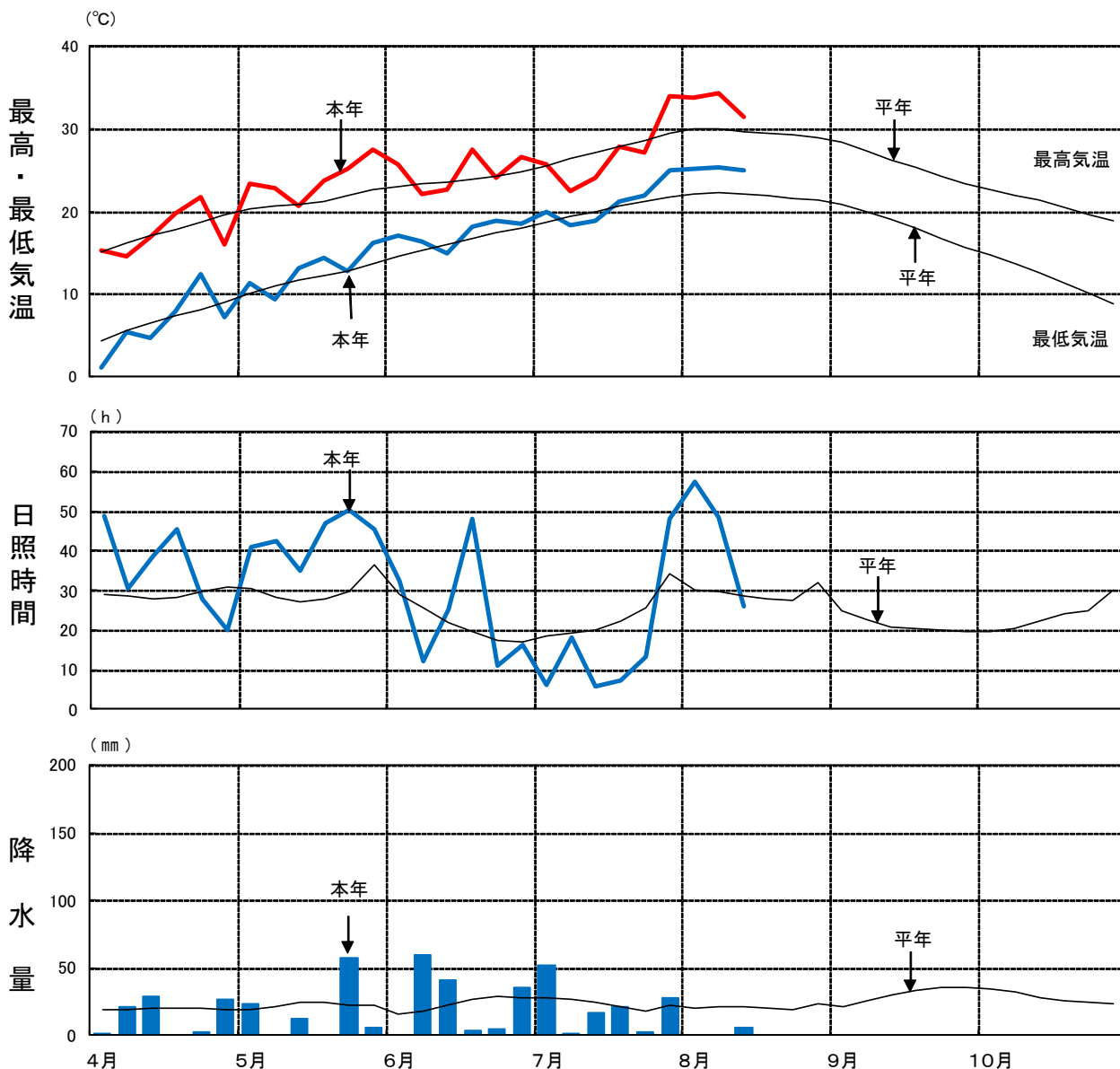
図 作柄表示地帯別の作柄の良否
(8月15日現在)



○ この資料は、「令和元年産水稻の8月15日現在における作柄概況（関東農政局管内）」8月30日公表の補足資料として作成したものです。
詳細については同公表資料を御覧ください。

本資料は、関東農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 http://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/ 】

令和元年 半旬別気象（水戸）



資料：気象庁

← 田植期 →
 5/6(±0)

← 出穂期 →
 8/1(+4)

注：田植期及び出穂期の期日は、いずれも最盛期を示す。
 なお、()内は、平年との遅速(日数)を示す。

お問合せ先

◎本統計調査結果について
 関東農政局 茨城県拠点 統計チーム
 電話：029-231-2266
 F A X：029-227-1535